

社会福祉法人 石川整肢学園

金沢湖南苑の環境行動計画

平成23年 6月13日

取組方針

環境基本理念

社会福祉法人 石川整肢学園 金沢湖南苑は、障害者の支援施設として事業活動を行っており、「至誠の心」、「信頼の心」、「ノーマライゼーションの心」を基本理念としています。

また、当施設の事業活動を進めていく中で、環境保全に取り組むことも地域社会への貢献のひとつと考え、住みよい社会と豊かな自然を将来世代に伝えることを目指します。

環境行動指針

私たちは、当施設の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組めます。

- ①省エネルギーにより、地球温暖化防止に努めます。
- ②事業活動における廃棄物の削減
- ③資源の有効な利用を図ります。

この方針に基づいて職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成 23年 6月13日

社会福祉法人 石川整肢学園
金沢湖南苑
理事長 駒井 一晴

■環境負荷低減の取組

当施設では、環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 目標—1 | 二酸化炭素の排出量を、22年度を基準として24年度までに2%削減する。 |
| 具体的な取組 | ①職員のいないスタッフルームや、利用者のいない居室、共有スペースの電気や冷暖房、テレビの電源を切る。 ②冷暖房の使用時は必ず窓やドアを閉め、効率を上げる。 ③共有スペースや休憩中の職員食堂を消灯する。(晴天時のみ) ④施設内の蛍光灯のLED化を推進する。 ⑤パソコンは、長時間使用する見込みのない場合は電源を切る。 ⑥トイレの暖房便座のふたを必ず閉める。 ⑦アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける。 ⑧車の室温温度を適正温度に設定する。 |
| 目標—2 | 廃棄物の適正な管理とリサイクルの推進に努める。 |
| 具体的な取組 | ①ごみの分別を徹底し、リサイクル、リユースに努める。 ②再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入、使用する。 ③製品をできるだけ、長期間使用する。 ④一般廃棄物については、今後データを把握するように努める。 |
| 目標—3 | 水の使用量を、22年度を基準として24年度までに2%削減する。 |
| 具体的な取組 | ①水道配管の更新工事を行ない、漏水の防止に努める。 ②手洗い場に節水を呼びかけるポスター等を掲示する。 |
| 目標—4 | 紙の使用量を、22年度を基準として24年度までに2%削減する。 |
| 具体的な取組 | ①両面コピーと裏紙利用を徹底する。 ②電子情報機器の利用により、ペーパーレス化を進める。 |

■環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、生活支援課長を委員長とする環境推進委員会を設け、全職員が「具体的な取組」を実行します。